

《実習科目 実習科目》

科目名	保育実習 I				
担当者氏名	山崎 徳子、荘司 泰弘、山田 義則、阪本 博寿				
授業方法	実習	単位・必選	4・選択	開講年次・開講期	2年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実習-2 豊かな人間性の醸成 ○ 実習-3 コミュニケーション能力の向上 ○ 実習-4 発達の深い理解 ◎ 実習-5 指導・保育の専門性 				

《授業の概要》

保育所実習と施設実習の準備、実習生として保育実践に参加し、保育士のスキル向上を目標にしている。事前学習で、配属実習に先立ちその意義や方法、心構えを確認し、実習課題の設定や記録の書き方を学ぶ。配属実習では、保育所や施設の子ども・利用者と保育者が織り成す現場を実感し、保育を主体的に考え、行動する力を養う。

《テキスト》

「保育実習の手引き」

《参考図書》

資料を適宜配布する。

《授業の到達目標》

保育所実習と施設実習を円滑に進めていくための技法について学び、実習に必要な書類作成や事務手続きをおこなう。事後学習をおこなう。

《授業時間外学習》

新聞、その他メディアの報道などから、子どもの問題に関心を持つ。出された課題について仕上げて提出する。

《成績評価の方法》

実習施設からの評価 50%、担当教員の評価—実習記録やレポートの作成能力、実習課題の達成度など 30%、授業への参加状況 20%

《備考（教員経験の有無）》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	1	【保】 オリエンテーション 保育所実習の意義と目的 【施】 施設実習の目的と意義
2	2	【保】 保育実習の1日の流れと留意点 【施】 施設への提出書類の作成
3	3	【保】 実習生のマナー 【施】 児童養護施設 (1) 施設の紹介
4	4	【保】 子どもとのかかわり I 子ども発達の 【施】 児童養護施設 (2) 養護のポイント
5	5	【保】 子どもとのかかわり II かかわりのポイント 【施】 乳児院 (1) 施設の紹介
6	6	【保】 保育技術 I 手遊び・絵本 【施】 乳児院 (2) 擁護のポイント
7	7	【保】 保育技術 II ペープサート 【施】 児童自立支援施設 (1) 施設の紹介
8	8	【保】 実習日誌の書き方 I 書き方の基本 【施】 児童自立支援施設 (2) 支援のポイント
9	9	【保】 実習日誌の書き方 II 書き方の応用 【施】 母子生活支援施設 (1) 施設の紹介
10	10	【保】 指導案の書き方 I 書き方の基本 【施】 母子生活支援施設 (2) 支援のポイント
11	11	【保】 指導案の書き方 II 書き方の応用 【施】 障害児入所施設 (1) 施設の紹介
12	12	【保】 保育所実習の自己課題 【施】 障害児入所施設 (2) 介護のポイント
13	13	【保】 保育所への提出書類の作成 【施】 施設実習の自己課題 1
14	14	【保】 守秘義務 実習にかかわる法令など 事前訪問について 【施】 施設実習の自己課題 2
15	15	【保】 お礼状・その他 【施】 まとめ